

平成28年度「教育活動についてのアンケート」の分析（12月実施分）

向春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。12月におこないました「教育活動についてのアンケート」へのご協力ありがとうございました。ご意見をもとに児童評価・教師評価と合わせ、分析および次年度に向けての取り組みの検討を行いました。概要をお知らせします。

本校の教育目標である『やさしく思いやりにあふれ、自他の健康安全を心がけ、確かに学ぶ子を育てる』の実現に向け、7月のアンケート以降も下記の5分野において継続して取り組んでまいりました。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 信頼される学校運営 2 学力の向上（確かな学力の形成） 3 道徳教育の充実（豊かな心の育成） 4 体力の向上（健康な体の育成） 5 開かれた学校づくり |
|---|

以下、それぞれの項目についてのアンケート結果と分析です。

※記載の％は「A：よくあてはまる」と「B：あてはまる」の合計、（％）は7月の数字です。

1 信頼される学校運営について

① 学校は楽しいですか(児童)94% (93%)

お子さんは学校に行くのが楽しいといっている。(保護者)91% (93%)

児童は明るく元気に登校している。(教師)100% (100%)

児童アンケート等から、いいところ見つけ、みるみる週間、キラキラファイルなど自己肯定感を高める取り組みを続けてきたことで、不登校傾向の児童も見られず、元気に登校していることが読み取れます。しかし、いじめにつながる子どもたち同士のもめごとや、嫌な言葉を落書きという形で表出している児童も一部に見られることから、自己肯定感を高める取り組みを続けるとともに、児童一人一人の少しの変化・困り感に気づけるよう全職員がアンテナを高くし情報を交流していきます。

② 困ったことがあったら、先生に相談できますか。(児童)69% (67%)

学校は子どもさんのことで悩んでいるとき相談にのってくれる。(保護者)87% (90%)

依然として、児童が先生になかなか相談できないという児童が3割おり、子どものことで相談に乗ってもらえないと感じている保護者の割合も若干ながら増えています。相談室の運用の工夫を続けることや、保護者の皆さんに対して、学校での出来事など連絡を密にとる。様々な場面で情報交換をするなど、「話しやすい」「相談しやすい」環境を作っていきます。

③ 授業は、わかりやすいですか。(児童)89% (88%)

お子さんは、学校の授業が分かっている様子だ。(保護者)86% (92%)

分かりやすい授業を工夫している。(教師)100% (100%)



教員は、研究発表会を通して、オリジナル授業デザインを基にした共通実践ができています。それに対して、児童の評価は横ばい、保護者の評価は6ポイント減少しています。児童が、「わかった」と感じることができるよう、ゴールの見通しを持たせた授業展開、既習事項の活用、板書の工夫など、授業力向上に向けた取り組みを次年度も行っていきます。さらに、1時間ごとに児童の定着度を図る手立てを工夫して、定着が不十分な場合には、宿題や個別指導で補充するなど児童の「わからない」に素早く対処してそれを解消するように努めていきます。

2 学力の向上(確かな学力の形成)について

④ 勉強したことを文や図にかいて考えたり説明したりしていますか。(児童)85% (80%)

児童は学んだことを文や図などを使ってまとめたり説明したりしている。(教師)83% (50%)

継続した取り組みで、児童評価・教師評価ともかなり上昇しており、成果が上がってきているといえます。考える視点・方法・手順を示し、さらに「何を」「どのように」書く(説明する)といいのか具体的に示しながら書き方や伝え方を指導し、児童の書く・話す力を育てていきます。

⑤ 家庭学習の手引きに書いてある時間家庭学習をしていますか。(児童)90% (93%)

お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている。(保護者)74% (81%)

家庭学習の習慣化を進めるため家庭学習の手引きを活用し働きかけている。(教師)91%

ご家庭では配布した家庭学習のてびきを基にお子さんに声かけをしている。(保護者)61%

励まし週間・チェック週間で良い結果が出ているのですが、保護者の方々の評価が低かったです。次年度は、児童・保護者・教師がしっかりと手引きの内容を共通確認し、取り組みに対する意識をそろえてスタートできるようにしていきます。

3 向上心の向上(豊かな心の育成)について

⑥ 友達に対して思いやりの心で行動している。(児童)86% (93%)

お子さんは思いやりの心で行動している。(保護者)77% (91%)

道徳の授業を要とした道徳教育の推進で児童に思いやりの心が育っている。(教師)95% (94%)

友達のよいところを見つけようとする態度が多くの子に身に付いてきたと同時に、次第に自分のよいところに気づける児童も徐々に増えてきていると感じています。しかし一方で、児童同士の小さなトラブルや誰かを傷つけるような軽はずみな言動も見られます。だめなことはだめというルールの徹底、道徳教育・日常の授業などを要とした思いやり(認め合い)の指導に力を入れていきます。

⑦ だれに対しても自分から挨拶をしていますか。(児童)94% (94%)

お子さんは、家庭・地域の人に自分から挨拶をしている。(保護者)78% (85%)

あいさつ等、児童の自発的な活動を促すような場の設定や指導を工夫している。(教師)100%

児童が中心となった活動によって、日常からあいさつが盛り上がる雰囲気がつくられてきたと感じています。また、あいさつ運動の工夫も効果的でした。しかし、毎日の活動の中での慣れや、時期による様子の変化の影響か、児童のあいさつにもよい時と悪い時があったと感じています。気持ちのよいあいさつをいつでもしっかりできるために、道徳や学活、生活目標での意識向上などに力を入れ、あいさつの大切さを児童に理解させていくとともに、グッドマナーキャンペーンでの活動の工夫をするなど家庭と連携を進めていきたいと考えています。



4 体力の向上(健康な体の育成)について

⑧ 体育の時間や他の時間に体をよく動かしていますか。(児童)96% (97%)

お子さんは遊んだりスポーツをしたりして日ごろから体を動かしている。(保護者)88% (90%)

体育の時間や他の時間の工夫で一人一人に体力がついてきている。(教師)100% (100%)

児童評価、教師評価ともに高い評価を維持していますが、保護者評価がB評価となりました。季節や冬季は特に、体力づくりの働きかけが必要と思われます。また、屋内で過ごすことでゲームやメディアにふれることも多くなりがちなので、生活リズムと合わせた指導が必要になります。次年度は、さらなる体力づくりコーナーの活用、長距離走やなわとびなどの取り組み、スポチャレいしかわへの参加などに継続して取り組んでいきます。また、保護者との連携を図るため、通信で学校での様子や家庭で取り組むことのできる体力づくりなどを紹介し、学校と家庭とが協力し合い、児童の体力づくりに働きかけていきたいと考えています。

⑨ 早寝・早起きなど規則正しい生活をしていますか。(児童)90% (85%)

お子さんは規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)を送っている。(保護者)81% (87%)

毎日の健康観察や清潔検査などにきちんと取り組ませている。(教師)100% (100%)

体力づくりと合わせて、就寝時刻や睡眠時間、ゲームやネット環境についての実態把握を継続して行い、よりよい生活習慣を送ることができるよう、働きかけることが必要だと感じています。また、生活習慣の問題は、保護者の皆さんとの連携が不可欠であり、児童だけでなく保護者の皆さんにも働きかけて、生活習慣の改善につなげていきます。そのために、今年度実施した児童参加型の学校保健委員会を、保護者にも呼びかけ、今後も継続していきたいと考えています。

⑩ 好き嫌いしないで何でも食べていますか。(児童)95% (94%)

給食を時間通り、残さず食べるように意識して指導している。(教師)92%(100%)

児童評価、教師評価ともに高い評価を維持しています。今年度は、全教職員が「残さず食べる」「決められた時間に食べ始め食べ終わる」ことを徹底して指導したことの成果が、表れたと思われます。来年度も引き続き、学校全体でより良い食習慣をつくるため目標を立て徹底して取り組んでいきます。

5 開かれた学校づくり

⑪ 学校であったことを家の人とよく話しますか。(児童)83% (78%)

子どもの話や学校からのおたより等で学校の様子が分かる。(保護者)83%(93%)

おたよりや連絡帳等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。(教師)100% (100%)

保護者の評価が前期よりも10%下がっており、情報発信の方法・内容を検討していく必要があると考えます。ホームページの表示を工夫するほか、ひきつづき家庭の協力を得たい取り組みの情報については、学校だよりや学級だよりで複数回お知らせする、育友会の役員さんにお話して広めてもらうなど積極的な発信に努めていきます。

学校関係者評価より (学校評議員さんをはじめとした方々の会合で出された意見です)

- ・94%の子が学校を楽しんでいるのは良いことであるが、学校が楽しいと思っていない少数の児童の様子に気を配り、何に困り感があるのか原因を探ってほしい。
- ・「何を」「どのように」書く(説明する)といいのかを具体的に示す取り組みはとてもいい。成果も上がってきているようなので引き続き取り組んでほしい。(学校より)自分の意見を出出することが今後の課題だと思っている。次年度に向けて重点的に取り組んでいく。
- ・つまずきのある子に対する個別指導に引き続き取り組んでほしい。
- ・「家庭学習の手引き」で家庭学習の意義・指針を児童、保護者に具体的に示すのはとても良い。(学校より)校長賞を出すことで、児童の家庭学習への動機づけにしている。また、宿題と同じ問題を朝学習のミニテストで確認することで「やってくればできる」という意識がついてきている。
- ・地域でのあいさつは小学校・中学校ともよい。
- ・ネットの問題は中学校においても、問題に感じている。中学校1・2年で危機意識が低い。中学校でも小学校と連携して状況調査をし、地域保護者を巻き込んだ啓発をしていく必要していきたい。
- ・想像力のなさが気にかかる。考えて行動することで危険を回避できる。子どもたちの経験が不足していることに原因がある。保育園から経験の積み重ねを大切にしていきたい。